

令和7年度 第5回福部地域振興未来会議 次第

日 時 令和8年1月27日(火)
午前9時～
場 所 福部町総合支所
2階 第2・3会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 鳥取砂丘ランドデザインについて 別冊参照
(鳥取県生活環境部 自然共生社会局 自然共生課)

(2) JR福部駅を拠点とした賑わい創出と鉄道利用促進について P1.～5
(西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部)

3 その他

4 閉 会

次回開催日程: _____ 月 _____ 日() _____ : _____ ～

福部地域振興未来会議委員名簿

任期 R7.4.1～R9.3.31

	氏 名	所 属 等
福 部 地 域 振 興 未 来 会 議 委 員	岩崎 幸子	公募(福部アイデア館管理運営協議会長)
	上山 弘子	福部未来学園学校運営協議会長
	宇山 英俊	福部町区長会長
	加藤 美幸	公募(鳥取県漁協福部支部海女)
	岸本 正枝	鳥取市公平委員
	谷口 孝義	福部まちづくり協議会長
	中川 玄洋	公募(NPO 法人 bankup 代表理事)
	中島 幹夫	鳥取市交通安全指導員会福部地区会長
	西尾 祥幸	未来へつなぐらっきょう将来ビジョン研究会代表
	西田 一幸	福部地区民生児童委員協議会長
	濱田 香	鳥取市農業委員会会長
事 務 局	松田 浩稔	元鳥取大砂丘観光協会会長 砂丘センター支配人
	米澤 裕治	福部町総合支所長
	福山 あゆみ	副支所長(兼)地域振興課長 〈併〉教育委員会事務局福部町分室長
	瀬戸川 善一	産業建設課長
	水戸口 亜希子	市民福祉課長
	多賀 博則	地域振興課主任
オ ブ ザ ー バ ー	山田 貴子	地域振興課課長補佐
	小川 修司	西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部 鳥取管理駅長

(敬称略)

資料提供	
令和8年1月26日	
担当課	鳥取砂丘未来会議 (自然共生課)
(担当者)	(福島、間屋口)
電話	0857-22-0582

鳥取砂丘ランドデザイン改訂に係るパブリックコメント結果及び改訂について

鳥取砂丘未来会議(※1)では、鳥取砂丘の目指す姿を示したうえで4つのエリア(特別保護地区等中央エリア、鳥取砂丘西側エリア、多鯨ヶ池エリア、鳥取砂丘東側エリア)の現状と課題を整理し、取組の方向性を示すため、「鳥取砂丘ランドデザイン」(以下「ランドデザイン」という。)を策定しています。

ランドデザインの策定後15年が経過し、鳥取砂丘を取り巻く環境が大きく変化していることを受け、このたび鳥取砂丘未来会議での議論、地元関係者や事業者、またパブリックコメント等の意見を反映させ、改訂を行いました。改訂したランドデザインは、鳥取砂丘未来会議ホームページ(<http://www.tottorisakyusaisei.jp/index.php?view=4831>)で公表します。

(※1)鳥取砂丘ランドデザインで定めた「100年後も砂の動く生きている砂丘」と「4つのエリアの目標」の実現に向けて、様々な主体と協働し、鳥取砂丘の優れた環境を次世代に確実に引き継いでいくとともに、鳥取砂丘の多面的価値を時流に応じて高め、鳥取砂丘及びその周辺地域の活性化に資することを目的とし、砂丘の活動団体、広域観光・経済団体、地権者、学識者及び行政関係者で構成する協議体。

1 パブリックコメント実施結果

(1) 実施期間 令和7年5月23日(金)～6月16日(月) 25日間

(2) 意見総数 73件(提案者14人(団体))

(3) 主な意見とランドデザインへの反映

※既に反映済：49件、改訂案に反映：6件、改訂案に反映させない：18件

区分	意見の概要	ランドデザインへの反映
全 エ リ ア 共 通	<p>(1)各エリアの「繋がり」の強化及び財源確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の目的地に「繋ぐ」観光拠点として、鳥取市の観光の中心的な役割を果たしてほしい。 <p>(2)県内各地への周遊</p> <ul style="list-style-type: none"> 「周遊」の言葉が出てくるが、「馬の背」へ行って砂の美術館を見て土産を買って昼食を食べて帰るのが一般的。砂丘を拠点に県内各地の観光地・温泉地やグルメ店への周遊という視点でよいと考える。 <p>(3)夜の活用及び季節ごとの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 夕方から夜にかけての活用視点が抜けている。 季節毎の取組がない(夕日、漁火、動物・生き物、植物、雪、星空) <p>(4)雪の砂丘(写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> 雪の砂丘も魅力的なので写真を入れたほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「周辺観光地からの案内・誘導に力を注ぎ、効果的に鳥取砂丘へ多くの観光客を呼び込み、更に次の目的地に「繋ぐ」観光拠点として、鳥取市の観光の中心的な役割を果たすことが重要」と追記。 「季節や一日の移り変わりも活かした環境学習やガイドツアーなど砂丘の魅力に触れる機会を創出する」と追記 星空の写真を追加 主要ポイントの写真の中に「雪の砂丘」の写真を掲載。
特別 保護 地区 等 中央 エ リ ア	<p>(1)海岸漂着ゴミ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「馬の背」から見る海岸のゴミが目立つ。清掃活動を年1～2回行っているようだが、追いついていないのもっと頻繁に行うべき。 鳥取砂丘の自然景観は観光資源だけでなく、持続可能な観光(サステナブルツーリズム)の象徴としても高い価値があるため、砂丘内部の除草や海洋漂着ごみの回収頻度を増やすべき。 漂着している海岸ゴミを、一度重機で取り除くのはどうか。また、最低でも春と秋の年2回は重機を使用して海岸ゴミを取り除き、綺麗な海岸線を保ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取砂丘の目指す姿に「砂丘海岸の漂着ゴミは、ボランティア団体等と連携した持続的な取組を進めていく」と追記。 「現状と課題」として「鳥取砂丘の海岸線に漂着ゴミ(プラスチック、漁具等)が打ち寄せられ、砂丘の景観や浜辺の環境が悪化している。」と新たに記載。 「取組の方向性」として「砂丘海岸の漂着ゴミは、官民一体で年2回の定期的な一斉清掃活動を実施していますが、ボランティア団体等と連携した持続的な取組を進めていきます。」と追記
多 鯨 ヶ 池 エ リ ア	<p>(1)景観保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 多鯨ヶ池の魅力は景観保全がベース。活用団体には清掃活動等の保全活動も取組んでもらいたい。 「多鯨ヶ池弁天堂」から砂丘トンネル入口までの県道湯山・鳥取線沿いの多鯨ヶ池側の歩道から多鯨ヶ池の景観を見られるように、草木の伐採等を希望。 梨園に沿った市道に、落書きのある小屋が点在しているため、撤去した方が良い。また、歩道の整備が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「取組の方向性」として「多鯨ヶ池周辺の眺望及び景観改善・環境保全と人呼び込む取組を行います」と記載

2 鳥取砂丘グランドデザイン（改訂版）の概要

(1) 基本的な方向性

①鳥取砂丘の目指す姿

グランドデザインの「鳥取砂丘の残していきたい姿」について、将来に向かっての姿勢を明確にし、より発展的な目標とするため、表現を「鳥取砂丘の目指す姿」とした。

改訂前	改訂後
<p>【鳥取砂丘の残していきたい姿】</p> <p>砂丘特有の風紋、起伏やスリパチ地形が維持され、自然のサイクルによる「砂の動く生きている砂丘」</p>	<p>【鳥取砂丘の目指す姿】</p> <p>貴重な海辺の生態系を尊重し、みんなで守り、育てる「砂の動く生きている砂丘」</p> <p>砂丘本来の姿を取り戻すために重点的に除草を行う区域を選定し、除草活動を行い、保全を図りつつ、利活用につなげていく。</p> <p>海辺の生態系（砂丘に生きる動植物などの生息環境）を維持しつつ、植生の管理と持続的な除草の取組を推進</p>

②共通課題

4つのエリア（特別保護地区等中央エリア、鳥取砂丘西側エリア、多鯨ヶ池エリア、鳥取砂丘東側エリア）のエリア間の取組の連携強化や砂丘での周遊性・滞在性の向上の必要性について明確に示すものとした。

改訂前	改訂後
<p>■滞在時間をさらに増やすための取組を進めます。</p> <p>■砂丘にふれあう機会を充実する取組を進めます。</p> <p>■引き出しやすくわかりやすい情報の発信を海外も視野に入れて行ないます。</p> <p>■鳥取砂丘からの景観との調和を考え、県民の理解と協力のもと、鳥取砂丘や地域景観に配慮した良好な景観形成を推進します。</p>	<p>■周遊性・滞在性の向上</p> <p>■既存施設とアクティビティの体験コンテンツの磨き上げと連携強化</p> <p>■インバウンドを視野に入れた引き出しやすくわかりやすい情報発信</p> <p>■様々な人々の理解と協力のもと、鳥取砂丘の自然環境・生態系の保全・再生、良好な景観形成及びこれらに配慮した利活用</p>

(2) 4つのエリアの取組の方向性

※下線部分が改訂前からの変更部分

<p>特別保護地区等中央エリア ～保全・再生と利用の好循環により砂丘の魅力発見に繋げるメインエリア～</p> <p>①砂が動く砂丘を再生するとともに砂とふれあう体験を創造します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂の動く砂丘本来の姿を取り戻すため、重点的に除草を行う区域を選定し持続的な除草活動を行うことで、砂丘に生きる動植物などの生息環境を維持しつつ、アクティビティやガイドツアーなどの利活用につなげていく、持続可能な保全と利活用の好循環を創出していきます。 ・自然の砂の動きと砂丘の成因を解明します。 ・自然のサイクルを考慮した砂丘の育成と保全に取り組みます。 <p>②「砂丘のもつ多様な価値、魅力」をしっかりと伝えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオサイトとしての保全と利活用に取り組みます。 ・保全再生の必要性を理解し、進んで活動する人材を育てます。 <p>③砂丘景観の改善を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂丘の保全・再生と、周辺の日常生活や観光産業に与える影響、飛砂防備保安林のあり方など、人間活動とのバランスを考慮しながら、慎重に取り組んでいきます。 ・砂丘海岸の漂着ゴミは、官民一体で年2回の定期的な一斉清掃活動を実施していますが、ボランティア団体等と連携した持続的な取組を進めていきます。
<p>鳥取砂丘西側エリア ～学びと遊びを通して鳥取砂丘を深く知る滞在型観光の拠点～</p> <p>①砂丘の楽しさを体感しながら、地域資源（文学的、歴史的資源）を学ぶ取組を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を発掘・整理し、学校や教育機関と連携して砂丘を楽しむ機会や場の提供を進めます。 <p>②アクティビティ等の体験や環境・自然学習を連携させた取組を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドハウスを拠点とした環境・自然学習と周辺施設やアクティビティ等と連携した取組を進めます。 <p>③砂丘の固有環境を活かした研究拠点との連携を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾燥地研究センターやルナテラスと連携し、砂丘を利活用した研究の意義の理解を深める取組を進めます。 <p>④飛砂防備保安林のあり方を検討していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂の動く砂丘や、景観・眺望の観点から保安林のあり方を検討します。 ・レクリエーション等への保安林の活用方策について検討します。
<p>多鯨ヶ池エリア ～廻り楽しみ、水に親しむ緑豊かな水公園～</p>

- ①観光客に多鯉ヶ池をアピールする取組を行います。
- ・多鯉ヶ池周辺の眺望及び景観改善・環境保全と人を呼び込む取組を行います。
 - ・多鯉ヶ池エリアの新たな利活用方策の検討を進めます。
- ②学術的な調査研究に取り組み、魅力を高めます。
- ・特別保護地区等中央エリアと一体として地学的な解明に取り組みます。
 - ・多鯉ヶ池及び周辺の生態的な調査に取り組みます。

鳥取砂丘東側エリア ～砂丘のメインエントランスと福部砂丘一帯の滞在・周遊促進エリア～

- ①自然景観と調和のとれた商業施設エリアの形成に取り組みます。
- ②鳥取砂丘のメインエントランスに相応しい多言語対応などユニバーサルデザインに配慮した取組を進めます。
- ③「砂丘のもつ多様な価値、楽しみ方」をしっかりと伝えていきます。
- ④地域の素材を活かした取組を進めます。
- ⑤らっきょう畑の眺望、景観を保全しながら、利活用を図ります。
- ⑥充実した機能を活かし、オアシス広場や海水浴場等のエリア内の資源の連携により、ビーチスポーツ、マリンスポーツ、マリンスポーツ、マリンスポーツなどの滞在性・周遊性をさらに高める取組を進めます。

鳥取砂丘周辺二次交通対策に向けた実証事業の取組状況について

鳥取砂丘西側整備の進展により滞在性が向上する鳥取砂丘の東西の周遊をはじめ、鳥取駅からの二次交通手段の確保に向け、下記の実証事業を実施。

1 観光シェアサイクルについて（期間：令和7年8月1日～11月30日）

無人で24時間いつでも利用・返却可能なシェアサイクル（電動自転車）の導入を見据え、実証実験を実施。

（1）事業内容

【自転車台数】18台 【サイクルステーション数】6箇所

【設置場所】鳥取駅、県庁、民芸館通り横、鳥取砂丘駐車場、ヤマタ鳥取砂丘ステーション、Enejet 吉方温泉SS

（2）8月～11月末までの利用者実績

累計利用回数1,511回、累計利用ユーザー数（本市で初めて利用したユーザー累計数）872人
※運営事業者目標値：8月～11月（4か月間）で900回

（3）今後の取組

11月19日、株式会社トリベイ、OpenStreet株式会社、鳥取市で協定締結し、自転車台数、サイクルステーションを増設した上で、12月以降も事業を継続。

2 砂丘東西周遊タクシーについて（期間：令和7年8月1日～10月26日）

鳥取砂丘東西を結ぶ新たな移動手段としての可能性を検証するため、ジャンボタクシーを30分間隔で定時運行する実証事業を実施。

（1）事業内容

【運行車両】ジャンボタクシー（運転手含め10人乗り）

【運行形式】30分間隔で定時運行 ①8月：1日16便 ②9・10月：1日14便

【停留所】

4か所（ヤマタ鳥取砂丘ステーション、SANDBOX TOTTORI、砂丘センター、砂丘会館）

【運行ルート】

ヤマタ鳥取砂丘ステーション→SANDBOX TOTTORI→砂丘会館→砂丘センター→SANDBOX TOTTORI
→ヤマタ鳥取砂丘ステーション

（2）8月～10月末までの利用者実績 累計利用者数115人、運行日数51日間

（3）今後の取組

概ねヤマタ鳥取砂丘ステーションから東側への利用に限定され、利用者も1日平均2人程度と少なく、事業性が低いことから、事業は継続実施しない見込み。

鳥取市シェアサイクル事業について

8月1日から実施した「鳥取市観光シェアサイクル実証事業」の利用状況等を踏まえ、本市と株式会社トリバイ・OpenStreet 株式会社は「シェアサイクル事業に関する協定」を締結し、観光振興や地域の活性化、公共交通機能の補完・代替等に資する新たな交通システムとして、本格的にシェアサイクル事業を開始しました。

1 本事業の実施期間

2025（令和7）年12月1日～2030（令和12）年3月31日まで

2 自転車台数・サイクルステーション・料金

- 自転車台数 : 36台
- サイクルステーション : 15カ所（1/16 現在）
 - ⇒ 鳥取駅前周辺 : 鳥取駅（北口）、鳥取駅前風紋広場、鳥取市役所本庁舎、鳥取銀行（本店）
山陰合同銀行（鳥取営業部）、山陰合同銀行（鳥取駅南支店）
 - 鳥取城跡周辺 : 鳥取県庁、やまびこ館、鳥取市民会館、わらべ館、鳥取銀行（鳥取川端 ATM）
 - 鳥取砂丘周辺 : 鳥取砂丘駐車場、ヤマタ鳥取砂丘ステーション
 - その他 : Enejet 吉方温泉 SS（吉方温泉町）、ファミリーマート吉成一丁目
- ※ サイクルステーションは、今後順次追加予定。（最新情報はアプリで確認可）
- 料金

車種	基本料金	最初の30分	延長料金	上限料金	備考
通常タイプ	なし	150円	以降15分毎 +110円	12時間まで 1,800円	短距離移動向き
スポーツタイプ	なし	200円	以降15分毎 +150円	12時間まで 2,400円	中長距離移動向き

